<u>3-(1)</u>Garmin Connect 連携

『横浜マラソン Run』は、「Garmin Connect」と連携できるようになりました。 普段よりGarminのウェアラブルデバイスと アプリをお使いの方は、ウェアラブルデバイスで記録した走行データをシームレスに取り込むことができます。

「Garmin Connect」から走行データを取り込むまでの流れ

「Garmin Connect」アプリをインストールし、アプリの画面に沿ってGarminアカウントの作成、ウェアラブルデバイスとのペアリング 1... を行います。





[Garmin Connect] アプリをインストール

Garminアカウントを作成





アプリ(スマホ)とウェアラブルデ バイスをペアリングして連携

ウェアラブルデバイス で記録した走行データ が [Garmin Connect] アプリを経由して、 Garmin Connectクラ ウドに同期できるよう になっていれば、 準備はOKです。

Garmin connect 連携

a ehealth.jp

Û

0

『横浜マラソン Run』にて、Garminアカウントの認証を行います。 2.





3-(1) Garmin Connect 連携(続き)

▼ 「Garmin Connect」から走行データを取り込むまでの流れ(続き)

3. Garminウェアラブルデバイスを使用して走行し、「Garmin Connect」アプリ経由でGarmin Connectクラウドに走行データを同期します。







走行

走行後、「Garmin Connect」アプリに走行データを連携、 Garmin Connectクラウドに同期します。

4. 『横浜マラソン Run』にて、Garmin Connectクラウドより走行データを取り込みます。



3-(2) ランニングアプリとの連携

『横浜マラソン Run』では、他のランニングアプリで記録した走行データを取り込むことができます。 取り込みは、iPhoneであれば「ヘルスケア」アプリ、Androidであれば「Fit」アプリを経由します。

▼ ランニングアプリからの走行データ連携手順 【iPhone の場合】

ランニングアプリ側での設定(アンダーアーマー社「UA Map My Run」の場合)

1. 「UA Map My Run」アプリをインストールし、アカウントを作成します。

初回起動時にアカウント作成を求められますので、画面に沿って進みます。 ここまでで「UA Map My Run」アプリ内で走行データの記録が可能になります。

2. 「UA Map My Run」アプリと「ヘルスケア」アプリの連携設定を行います。

「UA Map My Run」アプリ内の「設定」より、データ連携の許可操作を行います。

| ы | | < 設定 | < 許可 | 許可しない データのアクセス 許可 |
|----------------------------------|---|----------------------|---|---------------------------------------|
| | | ワークアウト中 | | ヘルスケア |
| Shop Under Armour | > | 音声フィードバック オン > | 許可 | *MapMyRun*が似下のカテゴリのヘルスケアデータのアクセスとア |
| Premiumにアップグレード | > | 遅延スタートタイマー オフ > | 83 モーションとフィットネス | すべてのカテゴリをオン |
| ぷ プロフィール | > | 単位 メートル法(キロメートル) > | モーションとフィットネスのアクセス着限が有効になると、 体の動き、参数、平均ペースなどのセンサーデータへのアク MapMyRun*に、表示されているすべてのヘルスタアデー | MaphyRun に、表示さいているすべてのヘルスケアデータタイプ |
| / ワークアウトの記録 | > | 心拍ゾーン 🔶 | モスかり別にんなります。 | 「ハロノフモスで計りまたは利用します。 |
| ワークアウトのルーティン | | 全てのアクティビティで速度優先 | ✓ 位置情報 | *MAPMYRUN*にナータの書*込みを計り: アクティブエネルギー |
| © II_L | | 画面常時オン | 位置標準サービスが有効化されていると、当社がワークアウトのマップを作成したり、要基を計算したりすることができ | |
| ⊗ 10− F | | 統計の設定 デフォルト > | | |
| アプリとデバイス | 2 | 装備 | ● Apple ヘルスケア 〇 | 0-0701 |
| SA 友達 | > | 心拍数その他のセンサーおよびデバイス > | Apple Health へのアクセス構設が有効になると、心田駅の道 該、アクティビティリングの早新、ワークアウトデータの保 | ● 安静時消費エネルギー |
| ライブトラッキング | 5 | コミュニケーション | オタン おか可能になります。 | 泳いだ距離 |
| ◎ 目標 | > | プッシュ通知 オン > | スマートフォンの設定画面で権限を管理します。 | 自転車の走行距離 |
| ぷ トレーニングプラン | > | プライバシー | | App. 7-1 |
| 心 設定 | | | | 「すべてのカテゴリをオン」をタッ |
| ₩ | | Appleの許可 > | | ──────────────────────────────────── |
| プライバシーセンター | > | その他 | | 🔍 [許可] します。 |
| ⑦ ヘルプ | > | 未同期のワークアウト なし > | | ð |
| | | 最近削除されたワークアウト なし > | | 👌 安静時消費エネルギー |
| | | 🖿 💱 (Ì) 🖻 •••• | | 自転車の走行距離 |

3. ここまでの設定により、「UA Map My Run」で記録した走行データが、「ヘルスケア」アプリに取り込まれるようになります。

3-(2) ランニングアプリとの連携(続き)

▼ ランニングアプリからの走行データ連携手順 【iPhone の場合】〜続き〜

『横浜マラソン Run』側での設定

4. 〔Run〕画面から〔走行管理設定〕画面を表示し、走行データ取り込み先に「ヘルスケア」を選択します。



5. (Run) 画面にある [走行データ取り込み] をタップすると、〔データのアクセス〕 画面が表示されますので、 「ワークアウト」をONに切り替え、 [許可] をタップします。



3-(2) ランニングアプリとの連携(続き)

▼ ランニングアプリからの走行データ連携手順 【Android の場合】

ランニングアプリ側での設定(アンダーアーマー社「UA Map My Run」の場合)

 「UA Map My Run」アプリをインストールし、アカウントを作成します。 初回起動時にアカウント作成を求められますので、画面に沿って進みます。 ここまでで「UA Map My Run」アプリ内で走行データの記録が可能になります。

2. 「UA Map My Run」アプリと「Fit」アプリの連携設定を行います。

「UA Map My Run」アプリ内の「設定」より、Googleアカウントを指定してデータ連携の操作を行います。



3. ここまでの設定により、「UA Map My Run」で記録した走行データが、「Fit」アプリに取り込まれるようになります。

3-(2) ランニングアプリとの連携(続き)

▼ ランニングアプリからの走行データ連携手順 【Android の場合】〜続き〜

『横浜マラソン Run』側での設定

4. 〔Run〕画面から〔走行管理設定〕画面を表示し、走行データ取り込み先に「GoogleFit」を選択します。



5. 〔Run〕画面にある[走行データ取り込み]をタップすると、スマホ内で管理されているGoogleアカウントが表示されますので、 「Fit」と連携する(ランニングアプリ側で選択したものと同じ)Googleアカウントを選択します。

